

第一日

午前十時十五分開會

開會の辞 中央委員久能寅丈 工僚會の努力を辞し

且つ海縣當面の問題たる政治行動に對する所信並

に將來の大同團結に就て其の根本方針を述べ、引

續いて推されて仮議長席に着いた。

勸進並に答辞、主催地組合代表木下工僚會長の勸進

の辞、列席者一同を代表して横廠工友會加藤支部

代表の謝辞等があつた。

議長選挙、木下主催地組合代表は左の通り推薦し、

夫々着席し一場の挨拶をおした。

議長 平谷伊徳 (工僚會)

副議長 岩井岸松 (左)

書記をして各組合提出議題を朗讀せしめ

た。

各委員並に書記任命、満場一致指名を一任されて議

長は資格審査、起草、豫算、決算、採扱、法規の

各委員として各支部より一名宛及び書記(山本主

事)を夫々指名した

後告並に質疑、少憩の後午後一時廿分再會、資格審

査並に採扱委員長より夫々報告ありて日能朗讀の

後、採扱委員長より夫々報告ありて日能朗讀の

後、採扱委員長より夫々報告ありて日能朗讀の

後、採扱委員長より夫々報告ありて日能朗讀の

後、採扱委員長より夫々報告ありて日能朗讀の

後、採扱委員長より夫々報告ありて日能朗讀の

後、採扱委員長より夫々報告ありて日能朗讀の

後、採扱委員長より夫々報告ありて日能朗讀の

後、採扱委員長より夫々報告ありて日能朗讀の

第二日

午前九時十分開會、議長は審議の形式を一二議會を

通して直ちに採扱し、其方法は支部代表の賛否に

依りて採扱し、其方法は支部代表の賛否に

依りて採扱し、其方法は支部代表の賛否に

依りて採扱し、其方法は支部代表の賛否に

依りて採扱し、其方法は支部代表の賛否に

茶話會 午後四時から引續いて茶話會を開き席上五

分間演説あり五時散會した。